

TOPIC
4
3
8

中国語のALT牟さん着任

牟海飛さん辞令交付式

中国語のALT（外国語指導助手）として牟海飛（モウ・ハイフェイ）さんが3月4日に着任しました。

8日に役場で辞令交付式が行われ、川島眞澄教育長が牟さんに辞令を交付しました。

牟さんは中国の山東省出身で、両親と妹との4人家族。小学生の頃に黒柳徹子さんの本「窓ぎわのトットちゃん」を読んだことで、日本に興味を持ちました。

牟さんは「子どもたちと交流し、中国の文化や料理などいろいろなことを教えたい」と話していました。



辞令交付式に出席する牟さん（中央）

TOPIC
1
3
1

早坂政司さん最優秀賞

しらぬかフォトコンテスト表彰式

しらぬかフォトコンテストの表彰式が白糠振興センターで行われ、作品「けあらしのシシャモ漁」で最優秀賞を受賞した西庶路在住の早坂政司さんに棚野町長から表彰状が贈られました。

応募のあった523点の中から最優秀賞に選ばれた早坂さんは「けあらしを狙って1週間通って撮れた写真。太陽がいい感じで出てきたので、思っていた構図になりました。すばらしい作品が多くある中で、受賞できたのはすごくうれしいです」と受賞を喜んでいました。



表彰状を手に受賞を喜ぶ早坂さん

TOPIC
5
3
10

地域のSDGsについて考える

白糠高校で北大「特別出前教室」

白糠高校は、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）を学ぶため、北海道大学大学院の石井一英教授を招いた「特別出前教室」を開催しました。

授業では石井教授の講義のほか、SDGsの視点から地域をよりよくするためのイベントや事業などを企画するグループディスカッションが行われました。

小林こころさん（2年）は「いろいろなSDGsの取り組みを知ることができました。これからは地域のためになることを考えていきたい」と話していました。



「自分が楽しいと思うことから始めて」とアドバイスする石井教授（右）

TOPIC
2
3
6

水害対策で貴重な体験を

着衣泳体験会

総合体育館や温水プールの指定管理者である株式会社オカモト主催の「着衣泳体験会」が温水プールで行われ、参加者7人が着衣泳の難しさを体感しました。

同社の餌取利行さんが講師を務め、参加者は服を着て水中で動くことに苦戦しながらも、実際の漂流を想定し、ペットボトルを使った浮き方などを学びました。

高橋花帆さんは「思うに泳げなくて驚きました。普段できない貴重な体験ができてよかったです」と話していました。



「泳ぐよりも浮くことを意識して」と餌取さん（右から3人目）



メモを取るなどして、熱心に説明を聞く生徒たち

TOPIC
6
3
11

自己の進路選択に役立てる

白糠高校「進路座談会」

白糠高校の1、2年生を対象とした「進路座談会」が同校で開催されました。

座談会を担当したのは、今年3月に同校を卒業した10人と、釧路総合振興局森林室音別事務所の職員4人。

進路座談会では1、2年生の生徒39人が、各ブースを回って担当者の話しに耳を傾けました。

慶伊陽さん（2年）は「いろいろと役立つことを教えてもらい、自分の進路に向けて頑張ろうという気持ちになりました」と話していました。

TOPIC
3
3
6

冬季の災害に備えて

冬季間避難行動検証訓練

西浜1区、西浜2区、西庶路町内会を対象に冬季間避難行動検証訓練を行いました。

町では20分以内に「津波指定避難場所」へ避難することを呼びかけており、訓練は時間内に避難できるかを検証したものです。

西浜1区町内会は、約20分で避難を終えました。千田操会長は「雪で道が悪く、思っていたより避難に時間がかかりました」と話していました。



消防団員協力のもと、東山公園に避難をする西浜1区町内会